

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	環境緑地論実習 [Practice of Environmental Green Space Conservation]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	710082	授業形態	実習	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	中野 光謙			学位授与の方針 との関連	DP2(1)		
授業概要	<p>本授業の目的は学生達が、野外における自然環境の生態学的な調査手法を習得すること、および生物と環境条件との関係を明らかにすることができるようになることです。また、環境問題を自分で発見し、調査を計画・実施して解決策を考案することができるようになることも目的とします。</p> <p>生態学的な知見を活用した野外調査は近年、学術的研究に限定されず、環境コンサルティングや環境学習等の様々な場で行われています。このような背景から、本実習では国内で広く行われている動植物の調査全般を行います。</p>						
関連する科目	水辺環境論、環境緑地論、環境調査及び再生論、ピオトープ論、水辺環境論実習						
授業の進め方と方法	各回のテーマに関して、野外における調査、室内でのデータ分析、文献調査等を行います。また、これらの作業で得られた結果を発表し、受講生全員で議論して批判的思考力を養います【態度・志向性の育成】。						
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、標識再捕法 標識採捕法を用いた個体数推定について学びます。</p> <p>第2回 鳥類(1)サシバの観察 金御岳でサシバという鳥類を観察します。</p> <p>第3回 魚類(1)流水域における定量的採捕 第4回 魚類(2)止水域における定量的採捕 第5回 魚類(3)分析 魚類を対象とした定量的な調査と解析の方法について学びます。</p> <p>第6回 水生植物(1)調査 第7回 水生植物(2)分析 水生植物相の調査方法(ライトランセクト法)を学びます。</p> <p>第8回 底生無脊椎動物(1)調査 第9回 底生無脊椎動物(2)分析 水生昆虫類等の底生無脊椎動物相とその生息環境を調べる方法(コドラート法)を学びます。</p> <p>第10回 水域ネットワーク(1)ダム、溪谷 第11回 水域ネットワーク(2)魚道、水田水路 ダムや魚道等を観察し、流域ネットワークについて学びます。</p> <p>第12回 哺乳類(1)里山 哺乳類相を足跡等から推定する方法(フィールドサイン法)を学びます。</p> <p>第13回 鳥類(2)河川 第14回 鳥類(3)公園 第15回 鳥類(4)里山 鳥類相を調べる方法(ルートセンサス法、定点法)を学びます。</p>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然環境を対象とした生態学的な野外調査の手法を習得する【職業知識・技能の育成、汎用的技能の育成】。</li> <li>2. 生物と環境条件との関係を明らかにするための科学的な方法を習得する【汎用的技能の育成】。</li> <li>3. 自然環境問題を自分で見つけ出し、解決策を考案するための思考力を養う【統合的な学習経験と創造的思考力の育成】。</li> </ol>						
授業時間外の学修	実習中に観察した動植物について、実習後に各自で図鑑等を見て生態や形態について確認してください。予習については必要に応じて授業中に口頭で指示します。						
課題に対する フィードバック	レポートは評価後に返却し、解説を行います。	評価方法	受講態度(60%)、発表・提出物(40%)の配点で評価します。				
テキスト	なし						
参考書	『フィールドワーク心得帖 新版』滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会 著(サンライズ出版)『河川生態系の調査・分析方法』井上幹生・中村太士 編(講談社)						
備考							